

福知山高等学校における保健活動について
～協働・連携を中心に～

京都府立福知山高等学校

1 はじめに

福知山高等学校のある福知山市は、京都府の北西部にあり、西は兵庫県と接しており、中心部には都市機能や産業が集積し郊外には自然豊かな農山村の風景が広がっている。

福知山高等学校は、明治34年(1901年)に、京都府第三中学校として創設され今年度、119年目を迎える。本校、三和分校(昼間定時制)に加え、平成27年度に開校した附属中学校がある。本校と附属中学校は同じ敷地内に有り、保健室は共有の1室で、中学校、高等学校の職員が在室している。分校は、本校から車で20分ほど離れた三和町に校舎がある。通学区域は広く、福知山市はもちろん、中丹、口丹、丹後地域など、遠方からも通学している。

2 保健活動について

協働・連携を中心とした5点について紹介する。

- (1) 危機管理
- (2) 職員研修
- (3) 学校保健会議
- (4) 生徒の保健委員会活動(福高コラボ)
- (5) 養護教諭の連携

3 取組内容

(1) 危機管理

- ア 防災マニュアル
- イ 危機管理マニュアル
- ウ 「大地震発生時の対応について」・・・保護者配布
- エ 「生徒の引き渡し・緊急連絡カード」・・・毎年返却、確認
- オ 非常用備蓄食品・・・食物アレルギー調査
- カ 食物アレルギー生徒用備蓄食品

卒業時返却

※卒業に向けた保健部の講話時に、
防災・危機管理の教材として使用

(2) 職員研修

配慮生徒の校内周知と連携

- ア 肢体不自由
- イ 聴覚障害
- ウ 色覚異常
- エ 疾病等への配慮・・・エピペン研修(シミュレーターを使った実習)

緊急対応

- オ 救命救急研修・・・福知山消防署

(3) 学校保健会議

高校と附属中学校合同で年2回実施

ア 構成メンバー・・・ 学校医6名（内科2名・歯科2名・耳鼻科1名・眼科1名）
学校薬剤師1名

PTA

学校教職員

イ 6年間を見通した健康課題への取組

ウ 校医より講話

(4) 生徒の保健委員会活動(福高コラボ・・・中・高の生徒と一緒に活動する取組)

ア 災害黒板による災害防止啓発活動

イ 校外清掃・・・年2回

ウ その他の活動（熱中症対策啓発劇・清掃点検・風邪予防・換気点検 等）

(5) 養護教諭の連携

養護教諭の配属

福知山高等学校 1名

附属中学校 1名

三和分校（昼間定時制）1名

ア 定期健康診断の連携

イ 教育相談

ケース会議の実施

ウ 日々の執務交流



4 おわりに

保健部の活動は、教育相談や、健康診断、配慮生徒への対応や周知、清掃活動など多岐にわたり、重要な場面で関わることも求められる。

また、それぞれの内容は、校内はもちろん、他機関との協働・連携も必要としている。学校の保健センターとして、保健安全に関わる情報発信の中心となると共に、校内の教職員と連携しながら生徒の健全な育成を支えていくことが大切である。

様々な課題に対応しつつ、問題の全体像を把握し、関わる人を繋げ、問題解決に向けたコーディネートをする役割も担っている。

移り変わる社会情勢の中、保健課題も日々変化をしている。その変化をしなやかに捉えながら、生徒に寄り添い、健やかな毎日を過ごせるよう、今後も保健活動を深めていきたい。